



# GOOD NEWS ときのかえ

# War Cry

5月号

福音版  
2019  
May  
No.2783

二〇一九年 五月一日発行

明治二十八年創刊

福音版・毎月一日発行

広報版・奇数月十五日発行(除く七月)

## 父のように 母のように

眞鍋 精一

聖書は、両親や年長者

指導的な立場の者に対する尊敬や敬慕の念を教えています。その教えの代表的なものといえば、旧約聖書出エジプト記二〇章一二節の

「あなたの父母を敬え。

そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生きることが出来る」

です。これは、有名なモー

セの十戒の言葉で、人間関係を教える中心的な戒めと言えましょう。当時のユダヤ人の子どもたちは、親の

神様への信仰、信頼を見ながら育ち、究極的な価値を身に着けました。

彼らは、神様を、超越した存在とだけ見るのではなく、人と人格的に親しく交わり、共に住む愛の神として信じていました。全知全

能なる存在と見るだけでな

く、救い主、慰め主、助け主であるお方として認識し、どのように神様とお付き合いしたらよいかを子どもたちにも身をもって示しました。子どもたちは、親の姿を通して信仰を学んだのです。

親は、子どもにとって、神様に喜ばれる、神様に祝福された人生の二本であり、見本でした。親には、普段

の日常生活を通して、真の幸福、生きる術を身につけさせる責務がありました。「お父さんのように、お母さんのように生きていけば、大丈夫！」と確信させたのです。

「はつきり言っておく。心を入れ替えて子供のようにならなければ、決して天の国に入ることはできない。」(マタイによる福音書18章3節)

大人は、どこかで子どもを、不完全で、弱く、未熟な存在と見なして、大人の論理を押しつけます。しかし、イエス様の発想は、子どもを中心にした視点でこの世界を見るものでした。それは、強者を頂点としたピラミッド型の世界ではなく、弱者である子どもを頂点に据えた、逆ピラミッド型の社会観、世界観でした。イエス様は、子どもを尊び、愛し、受け入れたのです。

日本の救世軍の初期における指導者であった山室軍平の「母の愛」という説教を紹介しましょう。

軍平は田舎の貧しい農家の八男坊として生まれます。小さいころから体が弱かったため、母親は軍平の成長を案じて、神様に祈り、ただ祈るだけでは、自分の誠が伝わらないと思い、

「軍平が人様に迷惑をかける大人として立派に成長するまでは」と、そのころ田舎で最も滋養の高い卵を食べないと決心して、その後亡くなるまで卵を食べませんでした。軍平は、その説教の最後で、彼の有神論の根拠はこの母の愛です、と明言し、

「こうした有難い母をくれた神様は、その母を幾万倍した愛の神様でなくてはならない」と言って説教を締めくくりました。

幼い軍平は、母の祈りと愛に触れて成長し、やがて自分自身のためだけでなく、誰かのために、世界の救いのために自分を献げて生きる人生こそ、母の愛に報いる唯一の証であると悟るに違いありません。

二十一世紀の多様化した価値観の今日においても、最も素晴らしい賜物は、神の愛に裏づけられた人の愛です。あなたは、愛を見失っていませんか？

(救世軍士官(伝道者))



「神は愛です」と英語で記されたワイヤーアート (作者 齋藤美紀さんの信仰の証言を2、3ページに掲載しています)



創立者 ウィリアム・ブース 大将 プライアン・ペドル (万国本営 英国ロンドン) 日本司令官 ケネス・メイナ (救世軍本営 東京都千代田区) <http://www.salvationarmy.or.jp>



世界をみつめて

〈ニュージーランド〉銃による襲撃現場での支援

3月15日(金)、クライストチャーチの2つのモスクが襲撃され、50人の死者が出ました。近隣にある救世軍の小隊(教会にあたる)及びチャリティーショップ(リサイクル品販売店舗)のスタッフや買い物客は無事でしたが、彼らの友人や関係者に犠牲者が出ています。翌日、救世軍はモスク近くに軽食と飲み物が提供できる車を駐車し、犠牲者の家族や、襲撃を日撃した人々などの声に耳を傾けました。また、クライストチャーチ空港からの要請(こた)に応え、犠牲者の家族の入国手続きなどの支援をおこないました。(写真: 献花場となった公園を訪ねる救世軍の指導者)



〈アメリカ〉デビッド・ベッカムらが地域の子どもたちへプレゼント

3月1日(金)、アメリカのプロサッカーチームであるロサンゼルスギャラクシーに所属していた、イギリス出身の元サッカー選手デビッド・ベッカムが、同チームや他の支援団体と共に、救世軍の運営するコミュニティセンターに、芝生のサッカーコートを寄付しました。コミュニティセンターは、ロサンゼルス若者、家族、高齢者にサ



ービスを提供するレクリエーションセンターです。運動やダンスのためのスタジオ、ゲーム、コンピューター、舞台、舞台芸術、読み書きや算数指導などを含む多面的なプログラムを通して地域に貢献しています。

デビッド・ベッカムは、自分が少年時代、プロの選手になることを夢見て努力したように、子どもたちの夢を実現させるため、この芝生が助けになることを喜んでいる、と挨拶しました。



〈日本〉グループホーム「カナ」竣工 児童養護施設「世光寮」に新しいグループホーム「カナ」が誕生しました。3月5日(火)に、書記長官藤井健次大佐補司式によって竣工式が執りおこなわれ、席上、設計士(設計監理)坂牛卓様、施工者 菊池建設株式会社様に感謝状が授与されました。



開錠する軍国女性部書記藤井千明大佐補

救世軍とは? What is The Salvation Army? 心は神に 手は人に Heart to God, Hand to Man



救世軍は英国に国際本部を置くプロテスタントのキリスト教会です。創立者は英国のメソジスト教会の牧師だったウィリアム・ブース。1865年、東ロンドンのスラム街で、どのような境遇の人でもイエス・キリストを信じるなら救われる、と伝道を始め、飢えている人には食べ物を、家のない人には宿泊場所を、仕事のない人には職業の斡旋を、アルコールにおぼれる人や搾取されている女性たちには、回復・更生のための施設を提供し、物心両面からの救いを目指しました。やがてこの働きを押し進めるために、軍隊流の組織を取り入れ、「The Salvation Army」と名づけました。



日本では1895(明治28)年に働きが始まりました。日本人で最初に士官(伝道者)になった山室軍平は、社会問題に取り組み、廃娼運動や結核療養所設立などに力を尽くして、キリスト教界だけでなく、明治~昭和初期の社会福祉史にもその名を残しました。

現在、日本の救世軍では小隊(教会にあたる)、社会福祉施設、病院(ホスピス併設)を通して、神と人にと仕える働きを進めています。

5月には、ゴールデンウィークの休みに合わせて、青年のための行事「青年デー」がおこなわれています。新しい学年から1カ月過ぎたこの時期に、青年たちが集い、心を開いて交流することを通して、信仰によって心のバランスが整えられる時となっています。また、神様に、自分自身の将来への導きを祈り求める時でもあります。 昨年の青年デーで→



(取扱支部)

救世軍は、統一協会、エホバの証人、モルモン教ではおられません。これらの問題ではお悩みの方は、右救世軍にご相談ください。

発行日及び定価

▼発行日 福音版・毎月一日発行

▼定価 福音版・一部 四〇〇円

クリスマス特集号(十一月一日) 一部 一〇〇円

振替・〇〇二八〇五四〇〇

発行兼 救世軍

印刷人 代表者ケネス・メイナ

編集人 寺澤 真由子

〒101-0051 東京都千代田区

電話 東京(03)三三七〇八八一

発行所 救世軍本営

印刷所 図書印刷株式会社